



七小だより

令和3(2021)年10月29日

国立市立国立第七小学校

校長 小畑 行広

NO. 7 11月号

もの思う秋

校長 小畑 行広

10月の下旬ごろから秋らしい日が多くなり、一段と寒さが増してきました。空の青さも目に染みほの深い色の秋空となりました。学校から見える富士にもどんと雪が積もり、どっしりとした黒富士から、凜とした白雪の富士へと変化しています。まるで、四季を感じているかのような自然の風景に目を奪われながらも、現実の日々の生活においては、新しい生活様式を徹底して、安全と安心の日々となるよう懸命に努めている私たちがいます。

保護者の皆様や地域の皆様には、子供たちの学びを止めないための本校の教育活動に多大なるご理解を賜り、厚く御礼を申し上げます。子供たちを守るのは、大人の責務であり、教育者として、多くの方々と連携を図り、力を結集することによって、守りの強度を高めているところです。

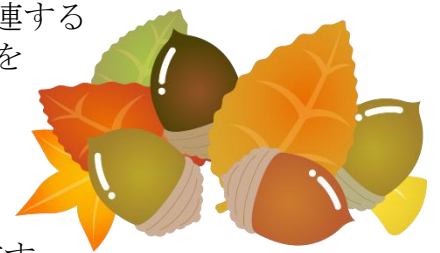
引き続きのご理解とご協力を、何卒、よろしくお願いいたします。

さて、今年の秋は、深まり方が速い感じがいたしますが、秋といえば、皆様は何を思い浮かべられますか。「食欲の秋」、「読書の秋」、「芸術の秋」など、多くのイメージが浮かんでこられると思います。このように一つの物事に対して、イメージを思い浮かべることは、実は、子供たちの課題発見能力を高めることに大きな力となります。自由にイメージすることで、思考力を高め、判断力を磨き、表現力を豊かにしていきます。総合的な学習の時間が導入された頃に、子供たちの自由な発想を基に、子供自身が探究していく課題を見付けるための手立てとして、多くの学校で取り込まれました。

現在では、マインドマップとか、ウェッピングマップと呼ばれ、思考ツールとして様々な教科で活用されています。取り組み方もいたって簡単です。白紙を配り、その紙の中心に文字が入るくらいの円を書き、その円の中に課題となる言葉を書きます。

例えば、「秋」と書いたとします。その周りに、秋から連想する言葉をたくさん書き出します。落ち葉、やきいも、秋桜、菊、涼しい、青空、秋風、本、栗、眠る、虫、鳴き声、夕焼け・・・・・・・・などなど、できるだけ書いていきます。そして、書き出した言葉で関連するものを線で結んで傾向を見ていくと、自分が何に興味をもっているかを知ることができます。そこから、自分の探求する課題を見付けていくというものです。

他にも思考ツールは、たくさんありますが、私は、自由に想像できるという点で、よく使っていました。そして、使えば使うほど、子供たちのイメージが高まることも知ることができ、次の学習課題を設定するときには、自ら学習課題を見付けられる子供が多くなった経験があります。自らの力を自らの取組で高めていくこと、これからの学習においても、学力を高めていくための手立てとして、大切な手法の1つだと思えます。



秋は、物事を深く考えるのに適している季節でもあります。自然の変化に目を向けたり、気温の変化を肌で感じたりしながら、いろいろなイメージを膨らませ、心豊かに過ごせるように様々な取組の中で考える力を高めていきたいと思えます。

また、11月19日(金)・20日(土)には、感染症対策を徹底して行うオータムフェスティバルを行います。リバウンド防止措置期間は終了しましたが、子供たちの安全・安心のための取組として「新しい生活様式」の徹底を図り、感染防止対策を行いながら、様々な教育活動を展開してまいります。オータムフェスティバルについての詳細についても改めてお知らせいたしますので、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

(裏面もあります)

校内研究について

研究主任

研究主題

相手や目的を意識して、考えや思いを表現する児童の育成
～「書くこと」領域の授業改善を通して～

昨年度より本校では「校内研究」を通して、全教員で国語の「書くこと」領域の授業改善に取り組んでいます。今年度は、昨年度までの実践を通じた成果と課題を踏まえながら、研究を深めています。全学年で研究授業を行っています。これまで2～5年生で行い、11月には6年生、1月には1年生での研究授業を控えています。

この研究を行うまでの書く活動では、児童が書いた文章を教師が添削し、それを基により良い文章にしていくが多かったのですが、研究を通して、グループを組んで友達と協力して書くことが有効であること分かってきました。本校ではこれを「共同推敲」と呼んでいます。つまり、一人で書くのではなく、みんなで書くということです。この取組については、児童の発達段階に応じて各学年で実践しています。また、「何のために書くのか」や「誰に読んでもらうのか」などの相手・目的意識を明確にすることを大切に、児童が主体的に取り組めるようにしています。

本研究は、今年度末に2年間のまとめを行う予定です。その際、児童にもアンケートを実施して成果や課題を明らかにしていきます。この研究が、児童が考えや思いを生き生きと表現する力につながるとともに、私たち教員の授業力向上にもつなげていきたいと思えます。

落ち葉拾い週間が始まります！

特別活動部

11月25日（木）から落ち葉拾い週間が始まります。学年ごとに12月3日（金）までの期間で落ち葉拾いの時間を設定し、校舎周りの落ち葉を拾います。各学年でグループをつくって密を避け、活動前後の手洗いを徹底して行います。

今回の活動を通して、自分たちの学校を自分たちできれいにするという自主的な態度を養っていきけるよう、取り組んでいきます。



【11月の予定】

1日(月)	オータムフェスティバル特別時間割始 委員会活動	18日(木)	午前授業 オータムフェスティバルリハーサル 前日準備
2日(火)	5時間授業 安全指導 弁護士によるいじめ予防授業（6年）	19日(金)	午前授業 オータムフェスティバル （児童鑑賞日）
3日(水)	文化の日	20日(土)	午前授業 学校公開 オータムフェスティバル （保護者鑑賞日）
5日(金)	午前授業	22日(月)	振替休業日
9日(火)	避難訓練	23日(火)	勤労感謝の日
10日(水)	午前授業	24日(水)	オータムフェスティバル片付け
11日(木)	こころの劇場オンライン（6年）	25日(木)	校外学習（1・3年） 落ち葉拾い週間始
12日(金)	読書月間終 5時間授業 学力向上を図るための調査（5年）	26日(金)	午前授業 桜守宝箱づくり（1・2年）
15日(月)	特別時程	29日(月)	委員会活動
16日(火)	5時間授業 避難訓練予備日 保護者会（6年）	30日(火)	校外学習（2年） PTA 運営委員会

※社会状況に応じて、変更となる可能性があります。その都度、メールや学年だより等でお知らせいたします。